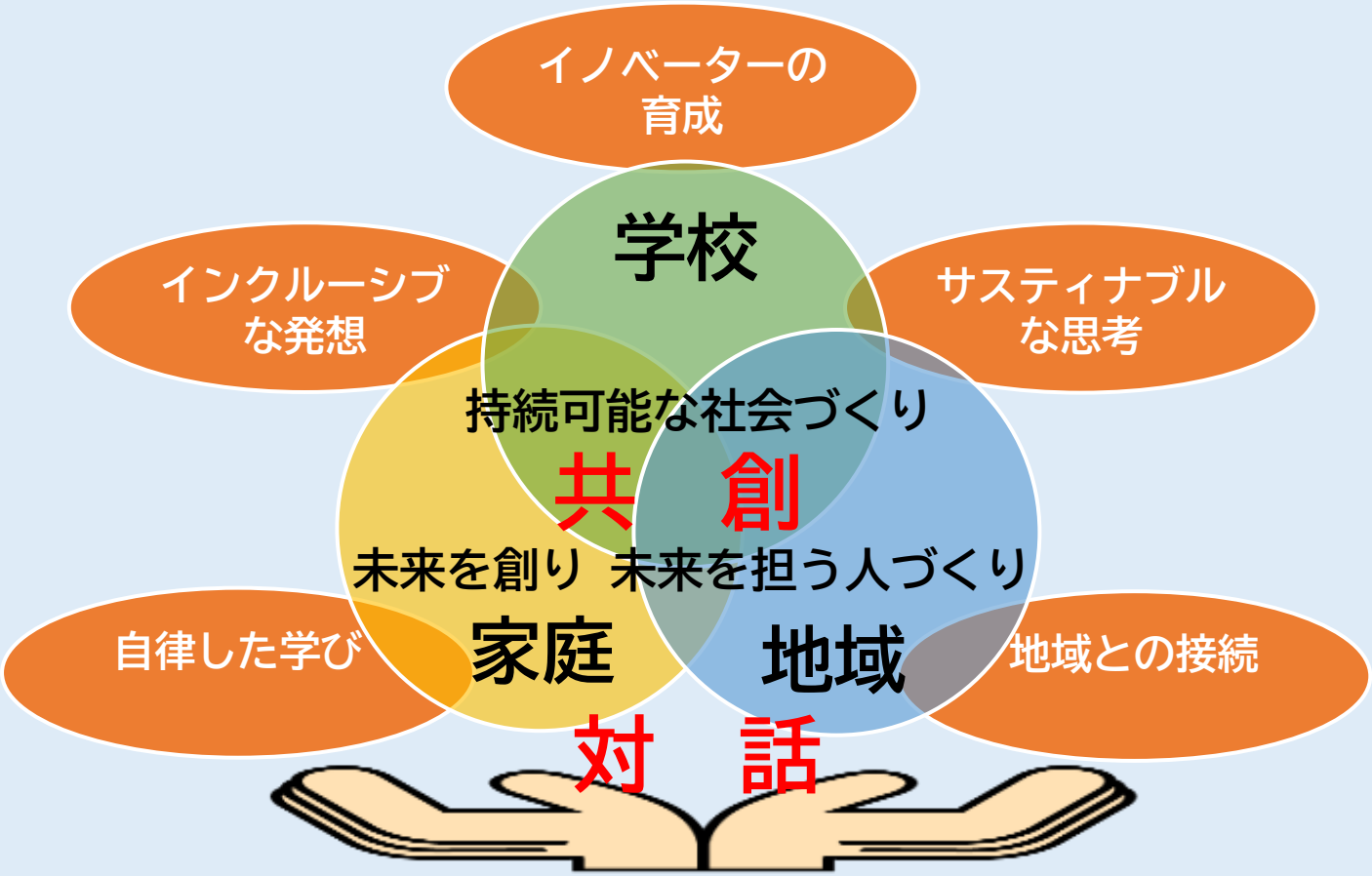
2024年度
明石のコミュニティ・スクール
概 要 版



「対話と共創」のプラットフォーム

コミュニティ・スクール

地域を活かし　地域に生きる

学校づくり ⇆ まちづくり

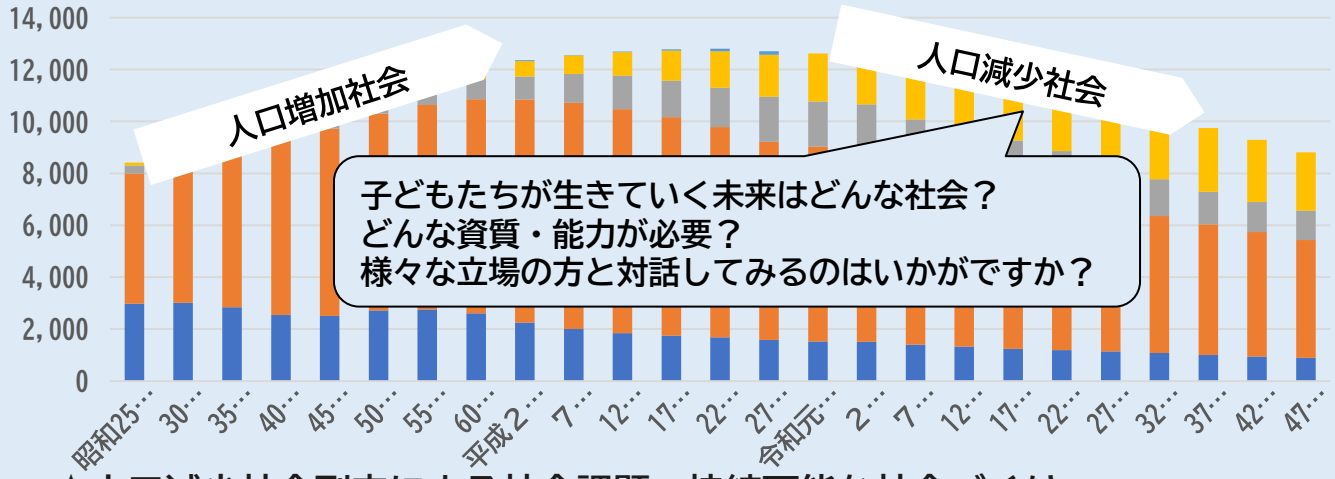
↓

個人と社会のウェルビーイング

明石市教育委員会事務局学校教育課

なぜコミュニティ・スクールが必要なの？

人口減少がもたらす影響を考えてみる必要が！



子どもたちが生きていく未来はどんな社会？
どんな資質・能力が必要？
様々な立場の方と対話してみるのはいかがですか？

★人口減少社会到来による社会課題⇒持続可能な社会づくり

〇国内需要の減少による経済規模の縮小　〇財政の危機　〇労働力不足
〇コミュニティの担い手の減少　〇国際競争力の低下　〇「人生100年時代」
〇社会保障制度のバランスの崩壊　〇自治体の消滅　etc.

SDGｓ未来安心都市・明石
～いつまでも　すべての人に　やさしいまちを　みんなで～
個人と社会のウェルビーイング

社会が変われば、学びも変わる　学びの構造転換

教育の役割：教育とは「子どもの今を育てつつ　未来の社会を創る仕事」

「未来を創り　未来を担う力」＝「ウェルビーイングを実現する力」　生きる力

教育改革

- 社会の変化に対応した教育を実践できるか
  - 未来を創る一助となるか
    - 意志ある未来へ
- これまでを改めず現状にとどまるか
  - 衰退、縮小、消滅に付き合うのか
    - 成り行きまかせの未来へ

「学習の時代」
Society4.0「情報社会」

「学びの時代」
Society5.0「超スマート社会」

「勉強の時代」
Society3.0「工業社会」

共に創る「未来を創り 未来を担う人」を育む環境に向け

【改めて学校とは】

〇全ての子どもが自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培う場

〇地域コミュニティの拠点として、地域の将来の担い手となる人材を育成する役割

【改めて地域とは】

〇地域は実生活・実社会について体験的・探究的に学習できる場

〇子供たちの学びを豊かにしていく役割

参考）新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた
学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について審議のまとめ

「未来を創り 未来を担う力」＝「ウェルビーイングを実現する力」

「生きる力」

⇒課題を見出し解決する力
⇒知識・技能の更新のための生涯にわたる学習
⇒他者や社会、自然や環境と共に生きること

多様な人々と関わり、様々な経験を重ね、地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりを通して子どもたちは豊かでたくましく成長し、心も育っていく。

人は人を浴びて 人になる

アプローチ１：地域とつながった学びづくり
「地域を活かし 地域に生きるカリキュラム・デザイン」
（本編５ページ）

アプローチ２：つながりから生まれる学びづくり
「コミュニケーションでつながりを深める対話」
（本編７ページ）

アプローチ３：地域づくりから生まれる学びづくり
「地域の子どもは　地域の宝」
（本編８ページ）

コミュニティづくり ⇆ コミュニティ・スクールづくり
連携・協働のイメージ

連携・協働とは➡立場の異なる団体・個人が連絡を密に、共通の目的にむけ、それぞれの役割を果たしていく

「対話と協働」による明石市の目指すまちづくり

SDGｓ未来安心都市・明石
～いつまでも　すべての人に　やさしいまちを　みんなで～

教育の役割

子どもの今を育てつつ　未来の社会を創る

人が育つ循環

“協力・共同”　的発想から　**対話**　“連携・協働”へ

協働のまちづくり推進組織 ⇆ コミュニティ・スクール

連携・協働

参考）明石市協働のまちづくり推進条例逐条解説